

この海域全般にコシノディスカスをはじめ肉眼視される数種の珪藻が確認されています。これら珪藻がやや多く確認された調査地点において、窒素は  $1 \mu\text{g-at/L}$  位の低い値を示しました。

(水温) 漁場平均  $12.7^\circ\text{C}$ 。平年比  $2.0^\circ\text{C}$ 、昨年比  $0.7^\circ\text{C}$  とともに高い。(塩分) 平均  $32.29\text{psu}$ 。前回 ( $32.20$ ) より約  $0.09\text{psu}$  高い。  
 (栄養塩、珪藻) この海域西部から北東部において、前回 (1/6) 調査同様にコシノディスカスや綿埃状のキートセロス・タラシオシラ的一种など肉眼視される珪藻がやや多く確認された。珪藻による消費もあるが播磨灘全体的に栄養塩が減少していることで、この海域においても窒素は中央から南東部で  $2 \mu\text{g-at/L}$  台、それ以外で  $1 \mu\text{g-at/L}$  台と前回調査より低下した状況であった。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	13.5	12.7	10.7	12.0
窒素	3.1	1.8	3.8	5.1
リン	0.61	0.45	0.51	0.55

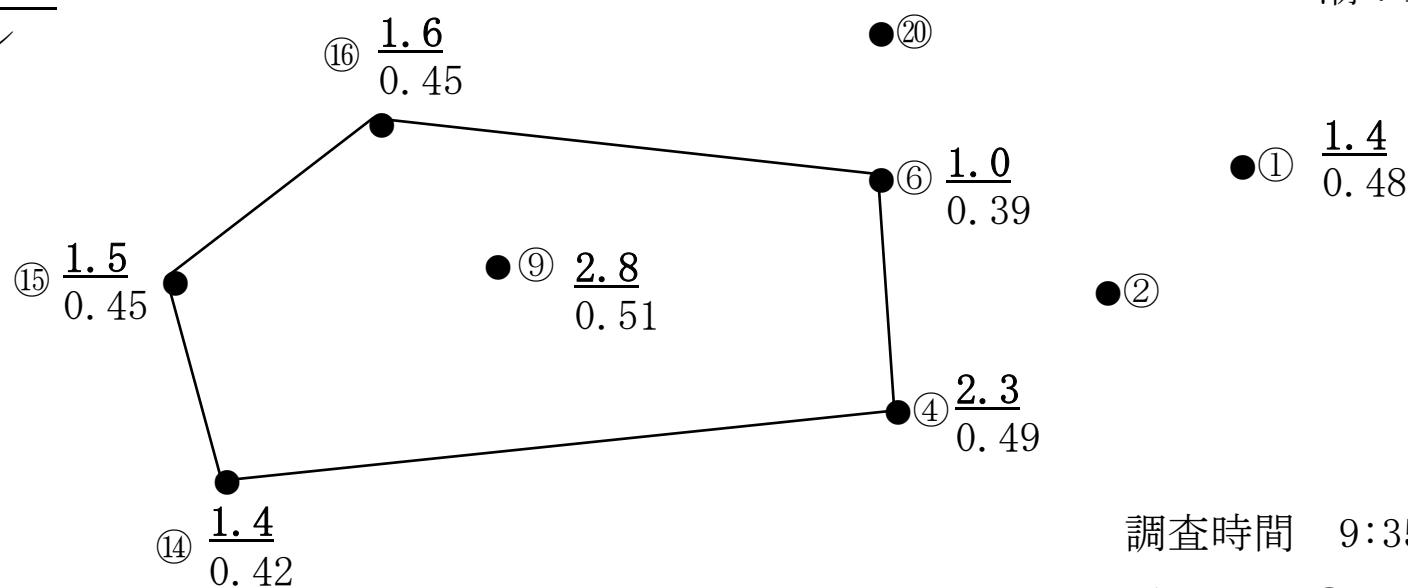
(1/6) (1/16)

2020年 1月16日調査

栄養塩図

潮：上げ始め

窒素  
リン



調査時間 9:35~10:23

(カンタマ① 7:36 干潮)

水温・塩分図

水温  
塩分

